

スピリチュアル物語

120話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリ奥特内スターボックス(要予約):1時間 \$70

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$22/1件(Paypal)



「災害や事件、事故によって一度に大勢の人が亡くなる現象は、人間には解らない魂レベルの次元では、あちらの世界とこちらの世界のバランスを、メビウスの輪の様に保つ為???」マジョリアルがマグワートの説明を繰り返す。「そうじゃ。人間レベルでは愛する肉親を突然失ったり、大切な家や財産が奪われたりする現象じゃが、魂レベルでは全く違った視点なのではないかとワシは思うんじゃ。だから、大勢が亡くなっ

て良かったという意味ではないぞ。飽く迄も魂視点の話じゃ」マジョリアルの説明に、「ところで、メビウスの輪って何だ?」ウィザットが口を挟む。「ドイツの数学者、メビウスさんが発見した概念で、テープ形状の長方形の片方の端を180度捻って他方の端と貼り合わせたものじゃよ」そう言うのとマジョリアルは立ち上がり、隣の部屋へと消え、暫くして紙テープを手に戻って来ると、二人の目の前でメビウスの輪を作ってみせ、その表面を指で辿りながら言った。「表と思っているこちら側を進んで行くと:ほら裏になる:更に進むといつの間にかまた表だ」「あれ?ほんとだ」「表が裏に、裏が表になるんですね?」

「そうじゃ。メビウスの輪は表と裏の無限ループなんじゃよ。ワシが思うに、この世とあの世もこんな感じで陰陽のバランスを取っているのではないかな、と。勿論、宇宙にはもっと複雑な仕組みもあるじゃろうが、このインフィニティーの記号と同じメビウスの輪は、一つの宇宙エナジーの象徴でもある気がワシはするんじゃ」



★これまでのお話(1~119話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 10月9日号につづく